



RSC-100
¥100,000
Color: BL

RSC-80
¥89,000
Color: CRS

ボディ・トップ、バックにフレーム・メイプルをラミネートしたゴージャスな輝きのRSC。完璧なカポッドトップ、レスポール・モデルのフォルムを決定する際、クラフトマンの技量が強く表現されている。そして、メイプルローズ・フィンガーボード・ネックが正確にセットされる、オールド・カスタム仕様のネック形状は、プロフェッショナルプレイヤーに十分対応したフィンガーワークを可能にしてくれる。RSC-80には、スタンダード仕様のチューン・マチック・ブリッジ&ストップテールピースをセット。眞鍮のトレモロ・システムHEAD GRASHERをマウントしたRSC-100、スーパーベックをひびきかせている登場。



ブラック・ビューティの名を欲いしましたハイスペックなRLC-60、65。

レスポール・スタンダードが発売された2年後、フレットを感じさせない「ラッカー・フレットレス・ブレイク」を呼ばれたレスポール・カスタムが発売された。ゴージャスな全身にバイディングが施され、しなやかなボディワークとスマートにマッチングしたブラックのラッカー・ブラック・ビューティ、とも呼ばれたのだ。デチューン時はRLC-60 '66 MODELと別称「シグナチャー」が、スタンダードモデルの歴史を遡る1955年、にストップテールピース・ブリッジ・ピエゾも、完成度の高いチューン・マチックとのコンビネーションにマイナーチェンジされた。しかし、スタンダードモデルと決定的に仕様が異なるのが、マカギーで構造されたトップ層と、そして3層になる、ビューティ・アンプラントでおなじみのスーパー・ハム・バット・ペグに、変更された。このモデルも忠実に再現したのがRLC-65 '57 MODELなのだ。



オールド・ヘッド・アングルはハイテンションのステレオモノ。

88年再生産のカスタム・モデルとは決定的に異なるヘッド・アングルは、最高級アロハニエー・ローズ・ネックを採用、もろもろ、ヘッド裏のコブはない。オールド・タイプのラジッド・セッティング、アジャスト・スカーフ・ナットとの間隔の広い上部に位置して、いびきで一目で分けてもらえる、オールド・スベックのキックだけ待たずハイテンション、このように表現してられるのだ。それは、該群の音響特性となって現われる。ヘッド裏面にはどこにされたビューティフルなバイディング、クラフトマンによって丁寧に仕上げられたフレットエッジ・バイディングは、ブラック・ビューティの名を欲いしましたハイスペックなRLC-60、65。



最高のフォルム、カポッド・トップをこのRLCで見事に再現。

トップのフォルムはオールド・スタンダードと同じく、カポッド・トップはサイがフラットで途中から中央に向けてもり上げ、中央部にくとフラットになっている。このビューティフルなフォルムを完璧に再現、トップ材は、代表的ブラック・ビューティはマカギー及びメイプル・メイプル・トップ、サッパース・メイプル、TSにはカラー・コンビネーションのきわどい、サウンド・個性を重視したメイプル・トップのコンストラクションだ。



RLC-60
'60 MODEL
¥60,000
Color: TS

CRS

BL

Photo: RLC-60, 65



RLC-65
'57 MODEL
¥65,000
Color: BL

Photo: RLC-65